

計測ユニットに接続できるパワーコンディショナの形式

2022年5月版

エナジーインテリジェントゲートウェイの計測ユニットの形式とバージョンごとに接続できるパワーコンディショナの形式を示しています。

◆表記の意味について

パワーコンディショナの赤字の形式は、出力制御に対応していないパワーコンディショナとなります。  
計測ユニットのバージョンのVer2.XのXは、任意の数字を示します。

○	計測ユニットの当該バージョンと接続できるパワーコンディショナを示します。
△	計測ユニットの当該バージョンと接続できないパワーコンディショナを示します。計測ユニットを最新バージョンに更新することで接続することが可能となります。
×	計測ユニットと接続できないパワーコンディショナを示します。
□	蓄電システムとして併設した場合の計測ユニットが接続できるパワーコンディショナを示します。

用途	計測ユニットの形式	ソフトVer	出力制御Ver	状態	KPKシリーズ		KPMシリーズ	KPRシリーズ		KPVシリーズ	KPWシリーズ	KPWシリーズ	KPTシリーズ	KPSシリーズ			
					□ : 30/40/55	□ : 30/40/55	□ : 44/55	□ : 30/40/55	□ : 44/55	□ : 30/40/55	□ : 30/40/55	□ : 30/40/55	□ : 30/40/55	□ : 30/40/55	□ : 30/40/55	□ : 30/40/55	□ : 30/40/55
住宅向けPV用	KP-MU1P-M	Ver2.X	Ver1.1.1	旧	○	△	○	○	△		△	△					
				旧	○	○	○	○	△		△	△					
				旧	○	○	○	○	○	×	○	○*1	×	×	×		
				旧	○	○	○	○	○		○	○*1					
				旧	○	○	○	○	○		○	○*1					
				最新	○	○	○	○	○		○	○*1					
産業向けPV用	KP-MU1F-M	Ver2.X	Ver1.1.1	旧	○	△	○	○	△	△	△	△	○				
				旧	○	△	○	○	△	△	△	△	○				
				旧	○	○	○	○	△	○	△	△	○				
				旧	○	○	○	○	○	○	○	○*1	○	×	×		
				旧	○	○	○	○	○	○	○	○*1	○				
				最新	○	○	○	○	○	○	○	○*1	○				
住宅向け蓄電システム用	KP-MU1B-M	Ver2.X	Ver1.1.1	旧	□		□	□						○			
				旧	□		□	□						○			
				旧	□	×	□	□	×	×	×	×	×	○	×		
				旧	□		□	□						○			
				旧	□		□	□						○			
				最新	□		□	□						○			
	KP-MU2B-M	Ver2.X	Ver1.1.1	旧	□	△	□	□	△		△	△			○		
				旧	□	□	□	□	△		△	△			○		
				旧	□	□	□	□		×	□	□*1	×	×	○		
				旧	□	□	□	□			□	□*1			○		
				旧	□	□	□	□			□	□*1			○		
				最新	□	□	□	□			□	□*1			○		

各Verは以下の電力会社の出力制御に対応しています。

Ver3.0, Ver3.1 九州電力の出力制御。

Ver3.2 九州電力・四国電力・沖縄電力の出力制御。

Ver3.3 九州電力・四国電力・沖縄電力・中国電力・東北電力の出力制御。

Ver3.5 九州電力・四国電力・沖縄電力・中国電力・東北電力・北海道電力・東京電力の出力制御。

Ver3.6 九州電力・四国電力・沖縄電力・中国電力・東北電力・北海道電力・東京電力・北陸電力の出力制御。

Ver3.9 九州電力・四国電力・沖縄電力・中国電力・東北電力・北海道電力・東京電力・北陸電力・中部電力・関西電力の出力制御。

# Ver2.X以前は電力会社の出力制御に対応していません。

\*1 KPW-A2シリーズを完全自家消費から通常の太陽光発電システム用(従来型)に切り替えるご使用いただけます。切替方法は従来型への切替施工マニュアルをご覧ください。

\*2 出力制御Verは、系統連系装置のJET認証出力制御装置のソフトウェア管理番号です。